



岡本 享也 選手・本石 捺 選手・柏木 陽介 選手の紹介



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

おかもと みたや
背番号 **1** 選手
GK 26歳

神奈川県横浜市出身で、FC東京U-15むさし、川崎フロンターレU-18、日本大学を経てFC岐阜とプロ契約して4年目。岐阜は古さと新しさの混在した町で、時間の流れがゆったりとして住みやすく気に入っています。鵜飼はいつか間近で見てみたいと思っていますが、最近はコロナ禍でどこにも行けず、ホームタウン応援大使の各務原市の皆さんとも交流が持てずに残念に思っています。

リーグ戦の1か月半の中断期間では前半戦の結果に反省を加え、プラスアルファの練習をじっくりと行うことができました。後半戦は皆が自信をもって存分に戦える集団になってきたので、優勝・昇格を勝ち取れると確信しています。昨シーズンからチームの選手会長を仰せつかっていますが、責任感と人としての成長を感じています。また選手たちをサポートしてくれているスタッフの有難さ、ファン・サポーターや観戦者数の多さ、スポンサー社数の多さ、そして皆さんの温かい応援に心から感謝しています。

夢はJ1でプレーすることであり、FC岐阜と共に上り詰めたいと願っています。高校の先生から頂き気に入っている言葉『年中夢求』をモットーに不器用な人間だが人一倍の向上心があり、黙々と努力していきます。スコットランドのセルティックFCに移籍した古橋選手とは今もオンラインで交流が続いており、自分も負けられないよう励みにして頑張ります。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

もとし なつ
背番号 **27** 選手
DF 22歳

大阪府堺市出身で、栃木県の佐野日大高校から阪南大学を経て今シーズンからFC岐阜に加入した。岐阜は阪南大学時代にFC岐阜との練習試合で一度来たことがある程度だったが、住んでみて非常に住みやすい町で気に入っています。大学の先輩である甲斐選手がいるのも安心材料のひとつです。

大学時代から自炊生活で慣れているので、自分で栄養バランスも考えながら食材を買って、料理を楽しんでいます。岐阜は新鮮な食材がいっぱいあって自炊に満足しているし、たまの外食では飛騨牛、ウナギが非常に美味しく気に入っています。

家族は両親と二人の妹がいて、郷里では女性パワーに圧倒されています。おかげで性格は明るく、誰とでも話が出来てすぐ仲良くなるのができるし、友人の数も多く毎日充実した日々を過ごせています。

夢は日本代表選手になって、いずれは海外で活躍できるように頑張りますと話す彼に、同じ大卒ルーキーとしてFC岐阜でプロ選手をスタートし、ヴィッセル神戸を経て、スコットランドのセルティックFCに移籍した古橋選手の夢に向かって進んできたサクセスストーリーは人並外れた毎日の練習と謙虚な人格の賜物であることを伝えました。

まずは岐阜でJ2、次にJ1昇格した後の近い将来に本石伝説が聞けることを楽しみにしています。



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

かしわぎ ようすけ
背番号 **42** 選手
MF 33歳

兵庫県神戸市出身で2005年～2009年サンフレッチェ広島で活躍し、2010年から11年間、浦和レッズのスター選手として、同時に日本代表選手としても大活躍してきたサッカー界を代表する選手である。そんな大選手が海外やJ1、J2などの幾多のオファーがあった中で、一番にオファーを申し入れたJ3のFC岐阜への移籍を選んでくれたと聞いて大喜びをした。柏木選手との正式契約の席上、全42市町村が応援してくれているFC岐阜のJ2昇格、更にはJ1昇格に貢献したいとの決意を聞いて一層嬉しく思った。なんと背番号は岐阜県の市町村の数と同じ42を選んでFC岐阜の選手として活躍すると共に、42市町村に対しての感謝の気持ちを込めての背番号であり、42市町村全域に向けて社会貢献活動をしていきたいとの非常に前向きな思いを語ってくれたことに感激した。

加入して6か月、前半戦で8試合出場した現在の状況について「J3のFC岐阜への移籍については不安もありましたが、挫折しかかった心も癒えて、浦和時代の視野の狭かった自分が見えるようになり、岐阜に来て本当に良かったと思っています。温かく迎えてくれた岐阜の皆さんには、試合の結果でお返しして、共に優勝と昇格を喜びたいです。」と力強いメッセージをくれた。

家庭では奥様と1歳半のお子さん、愛犬のチワワとコロナ禍であるが充実した毎日を楽しんでいる。